

県内で降雨が小康状態になった8日午前10時すぎ、富士山山頂付近は「笠雲（かさぐも）」の一種とみられる珍しい雲に覆われた。

笠雲は、水蒸気を含んだ空気が上昇気流で山体に沿って運ばれ、

富士山に「ニット帽」？



笠雲に覆われた富士山＝8日午前10時すぎ、静岡市駿河区

山頂付近で冷やされて形成される。山がさのように裾が広がった形が一般的だが、この日はニット帽のようにびったりと山頂を覆った。

静岡地方気象台は「雨が小康状態になり、富士山周辺の水蒸気が減ったことで山体が見えるようになるなど、いろいろな条件が重なったからだろう」と説明する。

同気象台によると、9日午後に降雨のピークを迎え、天候はその後、やや回復する見通し。ただ、富士山が本県側で山開きを迎える10日は曇り一時雨と見込まれる。

2015年7月8日 夕刊

①ニット帽に見える雲の名前を書きましょう。

[]

②この雲ができた訳を書きましょう。

[]

③天気に関する言い伝えを書きましょう。

[]

年 組 名前